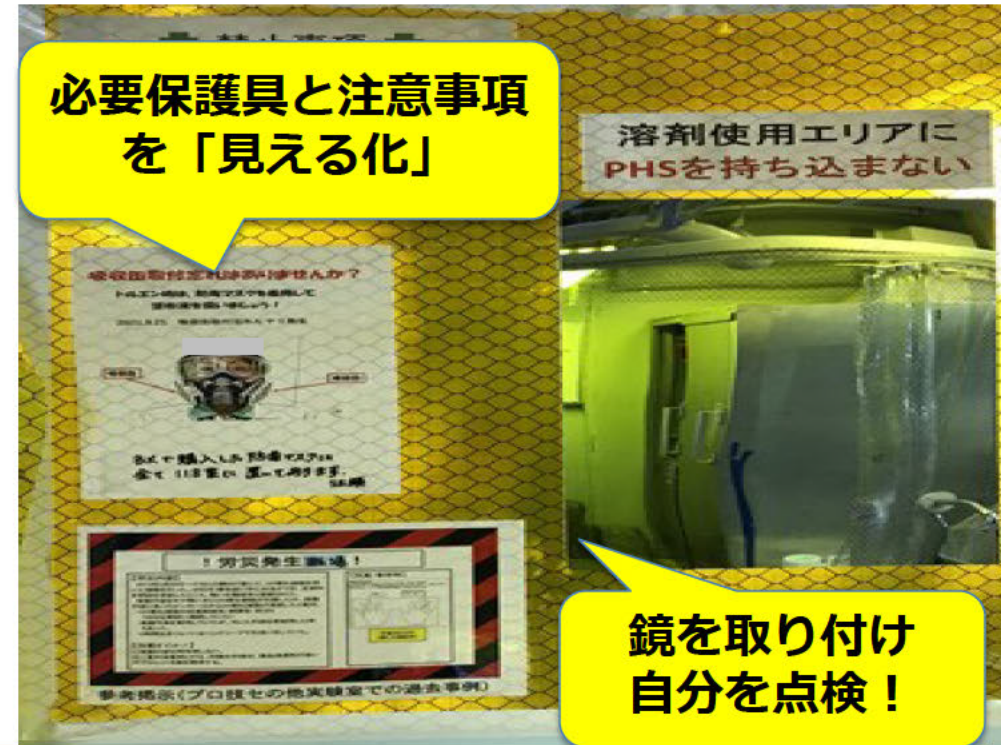
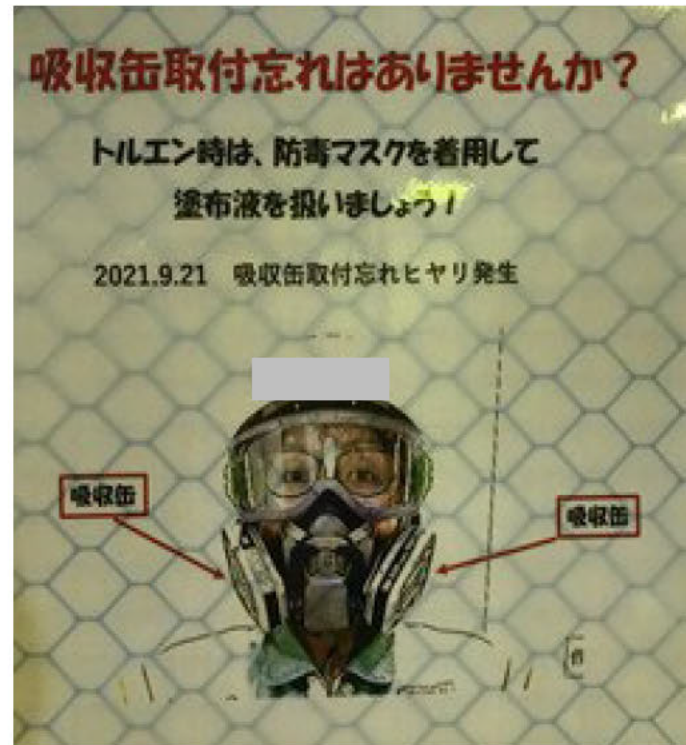


保護具装着状態の「見える化」

【Before】

対策前は、保護具の着用は実施していたが、適正保護具がしっかり着用出来ているかの再確認はしておらず、着用忘れが出やすい状態であった。

【After】



必要保護具がしっかり装着されているかの注意喚起表示に加え、保護具着用状態を目視確認出来る鏡を作業場の入り口に設置した。作業前に一旦停止し確認する事で、慌てている時など、落ち着きを取り戻す付加価値も増えた。